

## 2) 普及活動の変革と進化 02 交通安全教育に取り組む 地域の指導者をサポート



各地域に交通安全教育を定着させるためには、交通安全教育の現場を担う指導者の力が必要不可欠です。Honda の考え方に賛同いただいた行政・警察・関連団体の関係者、地域の指導者、学校の先生方に対し、Honda の交通安全教育プログラムや教材、その指導方法の提供を通じて、交通安全教育をサポートしています。また、交通安全教育の場と機会を拡大するため、他業種と連携した活動にも取り組んでいます。



### ●地域の指導者による Honda の教育プログラムの活用

Honda では、全国 5 つの製作所／製造部内にある地区普及ブロック（栃木、埼玉、浜松、鈴鹿、熊本）が Honda の交通安全教育プログラムを活用した指導を実践するとともに研修などを通じて、そのノウハウを地域の指導者に伝えています。

昨年 11 月に Honda が開発した高齢歩行者プログラムは、今年から全国各地への本格的な普及が進んでいます。このプログラムは、道路横断中の事故を防ぐための安全行動を高齢者に理解していただくことを目的としています。事故にいたる過程を歩行者とドライバー各々の目線で再現した映像を使

い、事故の原因を高齢者に考えていただくことで安全行動への理解が深まる内容になっています。（一財）岡山県交通安全協会 水島交通安全協会では、鈴鹿普及ブロックからプログラムと指導ノウハウの提供を受け、1 月より高齢者向けの交通安全教室に取り入れています。同協会シルバーセーフティサポーターの虫上陽子さんは「豊富な映像や画像によって話だけでは伝えきれないことを上手く説明できます。運転免許を持っていない方だけでなく、経験豊富な高齢ドライバーの皆さんにも充実した中身だと好評です」と、このプログラムを評価しています。



再現映像を使った道路横断シミュレーションの体験  
（一財）岡山県交通安全協会 水島交通安全協会

### ●高校が独自で交通安全教育を実践できるマニュアル

高校生世代は、交通社会の一員としての責任を自覚した行動が求められる時期です。Honda は生徒自身が交通安全について主体的に考え、自らが交通事故から身を守れるようになるとともに、他の交通参加者への思いやりの心を身につけてほしいという考えのもと、独自に高校生交通安全教育プログラムを 2012 年に開発し全国の高校に拡げてきました。そして今年、高校が自主的に運営できることをめざし、「高校生交通安全教育指導マニュアル」を完成させました。このマニュアル（DVD / CD）には、高校生の自転車による交通事故の防止を目的とした「感受性教育※」「実技教育」といったプログラムを収録。それぞれの教育内容について映像を使って解説しています。

福島県立福島工業高等学校では、2013 年から Honda の高校生交通

安全教育を取り入れています。4 年目を迎えた今年も、同校の先生方だけで生徒への交通安全教育を実施。マニュアルを活用して、1 年生を対象にクラス担任の先生方 7 名が感受性教育を行い、生徒に相手を思いやることや、交通ルールを守ることの大切さを理解してもらいました。同校生徒指導部主事の渡部浩一教諭は「マニュアルは教育のフォーマットがきちんとでき上がっているのを見て準備をすれば、教員なら誰でも効果的な交通安全教育が実践できます。クラス担任の先生がやることで、私たちの意欲も生徒に伝わりやすい」と話しています。

※感受性教育とは、交通社会人としての責任を自ら考える座学。事故の事例から交通事故の怖さ、周囲への影響、事故に伴う責任の重さについて学び、グループ討議の手法を使い、自分の考え方や行動を見直すことを学ぶ。



「高校生交通安全教育指導マニュアル」



福島県立福島工業高等学校の先生方による感受性教育（写真上）と実技教育（写真下）



### ●他業種との協働による交通安全活動の拡大

Honda は、交通安全活動の普及拡大に向けた取組みの 1 つとして、全国に 300 以上の店舗を展開する自転車専門店のイオンバイク（株）と連携した活動を推進しています。この取組みは、Honda が自転車の交通安全教育ノウハウをイオンバイクに提供し、同社がそのノウハウをお客様や地域の方々に提供するというものです。Honda の教育ノウハウと、イオンバイクの持つ自転車利用者との接点という両社の強みを持ち寄り、互いになり部分を補完することで、さらなる活動の充実をめざしています。

今年度は「親子で学ぶ 自転車あんぜん教室」を全国へ拡大していくため、地域ごとにイオンバイクの店舗を管理する国内の全エリアマネージャーを対象に、指導者養成勉強会を実施しました。勉強会では、Honda のインストラクターが、子どもに指導する時のポイントや、基本練習・走行練習の具体的な内容を説明。その後、参加者同士によるロールプレイングによって、指導ノウハウを身につけていただきました。イオンバイクは今後、全国各地での教室開催を加速させていく考えです。



イオンバイクの「親子で学ぶ 自転車あんぜん教室」指導者養成勉強会

